MASPRO

CATV ステイタスモニター ユニット

取扱説明書

STATUS MONITOR UNIT
送信周波数 48.5 MHz
受信周波数 74.25MHz

SMU744F

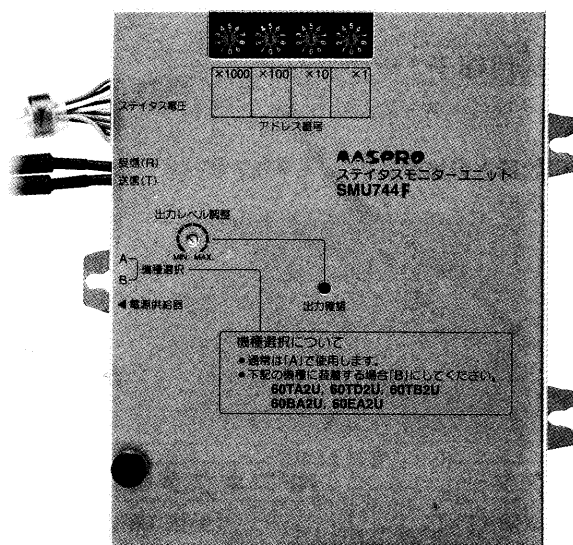
双方向ＣＡＴＶ増幅器に取付けて，増幅器や電源供給器の作動状態をステイタスモニターセンター装置で監視できるようにするステイタスモニターユニットです。

SMU744F 適合増幅器

機種選択スイッチを「A」に設定した場合		
60TA2U-45,	60TD2U-45,	60TB2U-45,
60BA2U-45,	60EA2U-45	
60TA2U-30,	60TD2U-30,	60TB2U-30,
60BA2U-30,	60EA2U-30	
77TA-45,	77TD-45,	77TB-45,
77BA-45		
77TA-30,	77TD-30,	77TB-30,
77BA-30,	77EA-30	
機種選択スイッチを「B」に設定した場合		
60TA2U,	60TD2U,	60TB2U,
60BA2U,	60EA2U	

停電作動の監視が可能な無停電 電源供給器

MPS603 CD2,	MPS603SFT,	MPS605SFT,
MPS605SFT2,	MPS605T2,	MPS605E,
MPS605E2,	MPS615ACS	

MASter of PROduction 生産の覇者

大規模共同受信に対応する機能

豊富な監視・制御機能

SMU744Fは，下りＡＧＣ作動レベル，内部温度，ハウジングのフタ開閉，電源電圧など13項目の監視・制御機能を備えています。

無停電 電源供給器インバーター作動の監視

無停電 電源供給器のインバーター作動監視端子と接続して， 商用電源の停止によるインバーターの作動をステイタスモニターセンター装置で監視できます。

上りゲート開閉制御

双方向CATV増幅器の上りゲートの開閉制御を，CATVセンターでおこなうことができますから，上り回線の流合雑音を最小限に保つことができます。

●ご使用の前に，この「取扱説明書」をよくお読みください。
●お読みになったあとは，保存してください。

各部の名称と機能

アドレス番号設定スイッチ

SMU744Fのアドレス番号を設定します。
（出荷時は，「００００」にしてあります）
p.3「**アドレス番号の設定**」をご覧ください。

ステイタス電圧コネクター

出力レベル調整

（出荷時は，81.1dBμの状態になっています。）
出力信号（48.5MHz）のレベルを0〜⊖15dBの範囲で調整できます。

機種選択スイッチ

- 通常は「A」で使用します。
- 下記の増幅器に装着する場合「B」にしてください。
  60TA2U，60TD2U，60TB2U，60BA2U，60EA2U

（出荷時は「A」に設定してあります。）

出力確認スイッチ

- **SMU744F**の出力レベルを設定するとき，出力信号を連続して送出するスイッチです。
- スイッチを押している間，無変調の信号を送出します。
- 細いドライバーなどで押してください。

電源供給器用端子

（電源供給器インバーター作動監視）
p.3「**電源供給器との接続**」をご覧ください。

フタ開閉センサー

ハウジングのフタの開閉状態を検出します。

RFコネクター
［送信（T）］

RFコネクター
［受信（R）］

浸水センサー

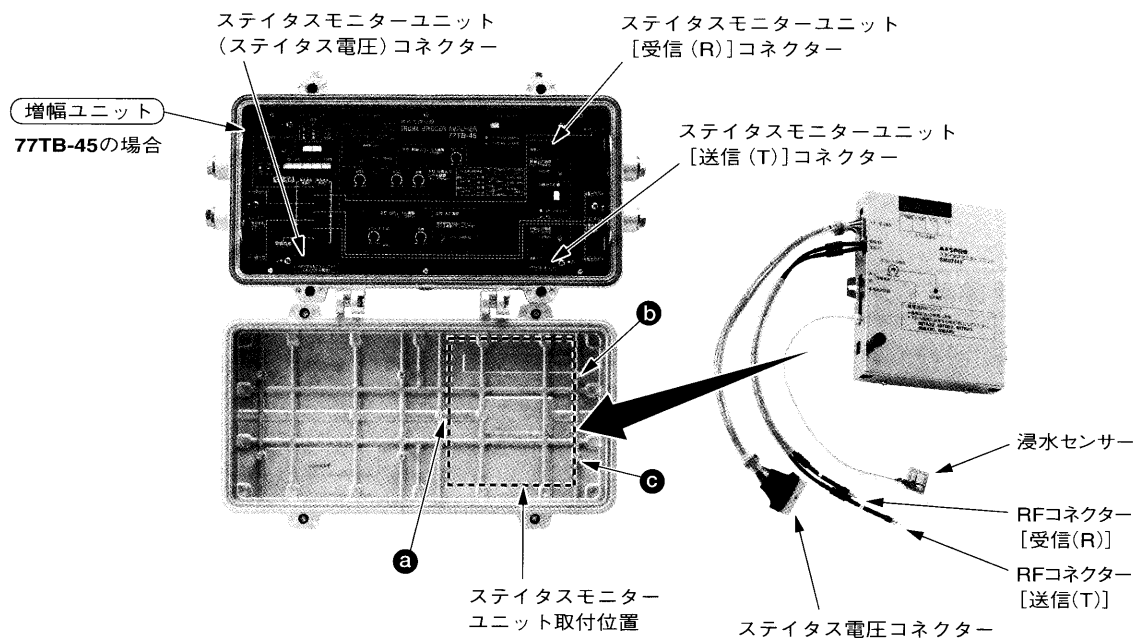
ハウジング内への水の浸入を検出します。
p.3「**浸水センサーの取付**」をご覧ください。

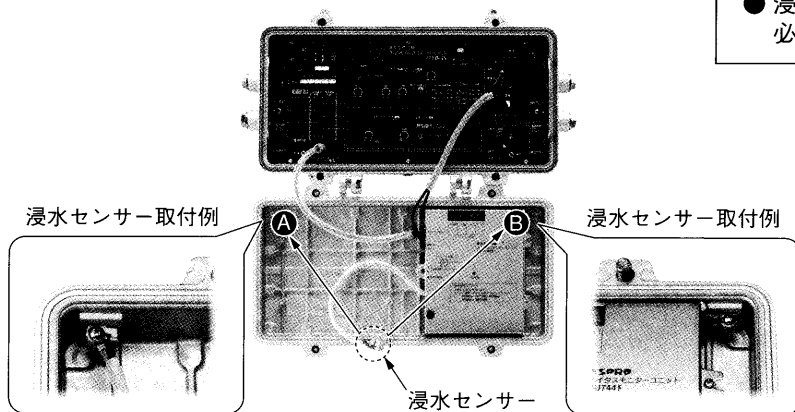
ユニットの取付

① **SMU744F**を増幅器のフタに取付け，固定ビス ⓐ ⓑ ⓒを締付けます。締付トルク［0.6N・m（6.1kgf・cm）］

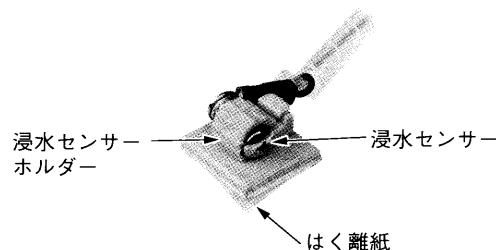
② 「ステイタス電圧コネクター」を増幅ユニットの「ステイタスモニターユニット（ステイタス電圧）コネクター」に接続します。

③ RFコネクター［受信（R）］，RFコネクター［送信（T）］を増幅ユニットの「ステイタスモニターユニット［受信（R）］コネクター」，「ステイタスモニターユニット［送信（T）］コネクター」に接続します。

④ 浸水センサーを取付けます。
p.3「**浸水センサーの取付**」をご覧ください。

浸水センサーの取付

● 浸水センサーは，ハウジングをメッセンジャーワイヤーに取付けた状態で，低くなる方(Ⓐまたは Ⓑ の位置)に取付けます。

ご注意

● 浸水センサーは，ハウジング内部に接触しないように取付けてください。接触するとステイタスモニターが誤作動します。
● 浸水センサーを張付ける面の油分・水分・ホコリなどを，必ず拭取ってください。

●浸水センサーは，裏側のはく離紙をはがして張付けます。

アドレス番号の設定

調整用ドライバーで「アドレス番号設定スイッチ」を回し，「矢印」を設定する「番号」に合わせます。

● アドレス番号は，０００１～９９９９まで任意の番号を設定することができます。
● 設定後は，アドレス番号をユニットの表示枠内に書き入れておくと，後日メンテナンスのときに便利です。

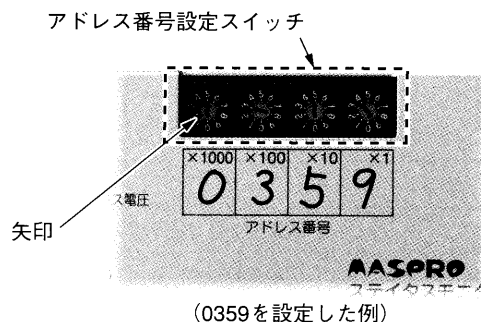
アドレス番号設定スイッチ

矢印

×1000 ×100 ×10 ×1

0 3 5 9

アドレス番号

（0359を設定した例）

出力レベルの設定

ご注意

出力レベルを調整するときは，調整用ドライバーを使用してください。無理に回すと，こわれることがあります。

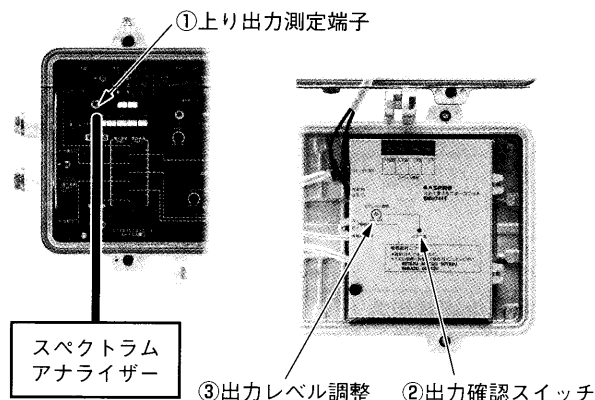
① スペクトラムアナライザーを増幅器の上り出力測定端子に接続します。

② **SMU744F**の「出力確認スイッチ」を押しながら，48.5MHzのレベルを測定します。

③ **SMU744F**の「出力レベル調整」を調整用ドライバーで回して，運用レベルより10dB低い値に調整します。
詳しくは，増幅器の取扱説明書の「**標準入・出力レベル表**」をご覧ください。

①上り出力測定端子

スペクトラムアナライザー

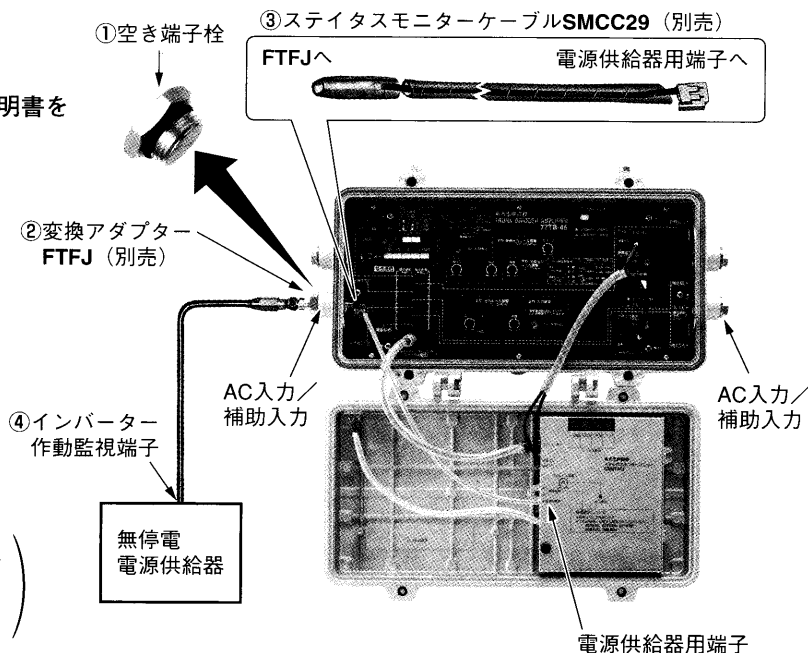
③出力レベル調整　②出力確認スイッチ

電源供給器との接続

無停電 電源供給器側の接続は，電源供給器の取扱説明書をご覧ください。

接続には，別売の変換アダプター**FTFJ**とステイタスモニターケーブル**SMCC29**が必要です。

① 「AC入力／補助入力」の空き端子栓を外します。
② 別売の変換アダプター **FTFJ** を取付けます。
③ 別売のステイタスモニターケーブル**SMCC29**を**SMU744F**の「電源供給器用端子」と変換アダプター**FTFJ**へ接続します。
④ 変換アダプター**FTFJ**と無停電 電源供給器の「インバーター作動監視端子」を接続します。

（写真は左側の「AC入力／補助入力」を使用して接続した例です。右側の「AC入力／補助入力」も同様に使用できます。）

正しく使用していただくために

ステイタスモニターが正常に作動しないときは，次のチェックをしてください。

- **アドレス番号は，正しいですか。**
  アドレス番号設定スイッチのチェック
- **機種の選択は，正しいですか。**
  機種選択スイッチのチェック
- **前段の双方向CATVアンプからステイタスモニターセンター装置までの上りゲート設定は，正しいですか。**
  ステイタスモニターの上り回線に使用しているゲートが「開」になっているかチェック
- **RFコネクター，ステイタス電圧コネクターは，正しく挿入してありますか。**
  コネクターを抜き差ししてチェック
- **ステイタスモニターケーブルSMCC29は，正しく接続してありますか。**
  コネクターを抜き差ししてチェック
- **RFコネクターの［受信（R）］と，［送信（T）］は，増幅ユニットに正しく接続してありますか。**
  RFコネクターの（R），（T）の表示と増幅ユニットの［受信（R）］，［送信（T）］が合っていることのチェック

以上の方法でもトラブルが解決できない場合，お近くの当社支店・営業所または工事営業部までお問合わせください。

規格表

MASPRO

項目	規格
送信周波数	48.5MHz（占有帯域幅 ±250kHz）
受信周波数	74.25MHz
変調方式	FSK（受信）／PSK（送信）
データ伝送速度	9600bps
搬送波ＯＮ・ＯＦＦ比	50dB以上
最大出力レベル	93dBμ
出力レベル調整範囲	0～㊀15dB以上（連続可変）
入力レベル範囲	39～61dBμ
スプリアス	㊀50dB以下　※1 （SMU744Fの出力レベルが93dBμのとき，10～55MHz，70～771.25MHzの帯域において）
電源供給器用端子 入・出力形式	無電圧接点入力　※2 （出力電圧DC5±0.25V，電流13mA最大）
電源	DC12V
外観寸法	158（H）×142（W）×46（D）mm
質量（重量）	約600g

※1　ステイタスモニターユニットを取付けた増幅器を含む出力特性です。
※2　無停電 電源供給器のインバーター作動監視方式は，外部電源方式（商用電源時：オープン，インバーター作動時：ショート）となります。

監視・制御

❶ 2値監視項目
① 下り幹線増幅部AGC／MGC作動状態
② 上り幹線増幅部AGC／MGC作動状態
③ 停電作動状態
④ 上りゲート開閉（2回路）
⑤ フタ開閉
⑥ 浸水

❷ アナログ監視項目
① 下り幹線増幅部AGC作動レベル
② 上り幹線増幅部AGC作動レベル
③ AC電圧
④ DC電圧
⑤ DC電流
⑥ 内部温度

❸ 制御項目
① 上りゲート開閉（2回路）

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

MASter of PROduction 生産の覇者

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

マルチメディアの
＝マスプロ電工＝

本社〒470-0194（本社専用番号）愛知県日進市浅田町
営業部 TEL名古屋（052）802－2244
工事営業部 〃 （052）802－2225
技術相談 〃 （052）805－3366
インターネットホームページ www.maspro.co.jp

支店・営業所
沖縄（098）854-2768
鹿児島（099）812-1200
宮崎（0985）25-3877
熊本（096）381-7626
長崎（095）864-6001
福岡（支）（092）531-3861
北九州（093）941-4026
下関（0832）55-1130
徳山（0834）32-2954
広島（082）230-2351
松江（0852）21-5341
岡山（086）252-5800
松山（089）973-5656
高知（088）882-0991
高松（087）865-3666
姫路（0792）34-6669
神戸（078）843-3200
大阪（支）（06）6635-2222
工事営業部（06）6632-1144
京都（075）646-3800
津（059）234-0261
岐阜（058）275-0805
名古屋（支）（052）802-2233
工事営業部（052）804-6262
豊橋（0532）33-1500
静岡（054）283-2220
松本（0263）57-4625
福井（0776）23-8153
金沢（076）249-5301
新潟（025）287-3155
横浜（045）784-1422
渋谷（支）（03）3409-5505
工事営業部（03）3499-5631
秋葉原（03）3255-7335
青戸（03）3695-1811
八王子（0426）37-1699
千葉（043）232-5335
さいたま（048）663-8000
前橋（027）263-3767
水戸（029）248-3870
宇都宮（028）660-5008
郡山（024）952-0095
仙台（022）786-5060
盛岡（019）641-1681
秋田（018）862-7523
青森（017）742-4227
函館（0138）53-7355
札幌（011）782-0711
釧路（0154）23-8466
旭川（0166）25-3111
北見（0157）61-0480

2K55-510
B-33-4510-1L
MAR., 2003